

「超高齢社会を展望した新たな医療保険制度体系の実現」

老人医療費を中心に国民医療費が増大する中、現行の制度では、現役世代と高齢者世代の負担の不公平が指摘されている。このため、新たな高齢者医療制度を創設し、高齢者世代と現役世代の負担を明確化し、公平でわかりやすい制度とする。

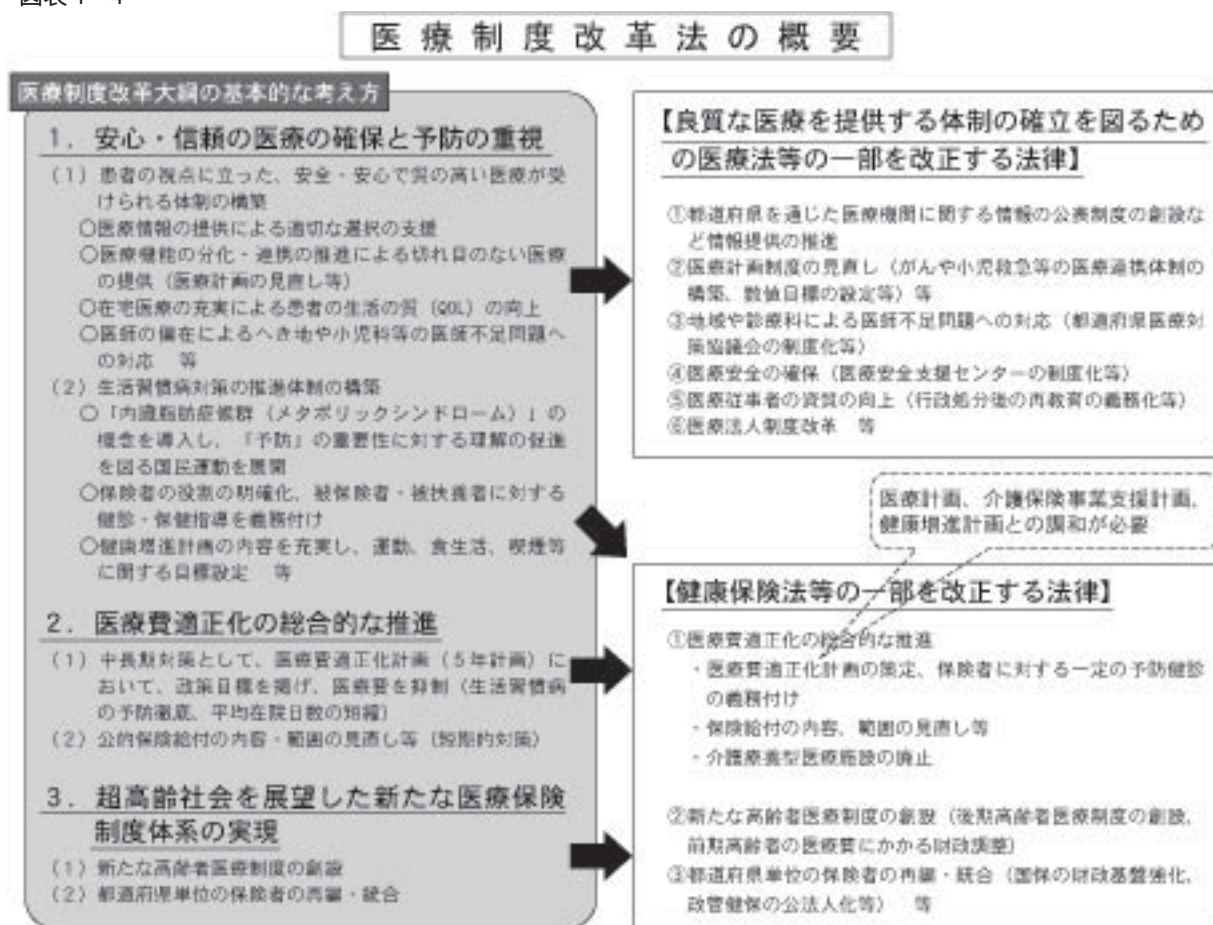
また、市町村国保、政管健保、健保組合について、都道府県単位を軸とする保険者の再編・統合を進め、保険財政の基盤の安定を図る。

4 医療制度改革における医療費適正化計画の位置付け

今回の医療制度改革の大きな柱の一つである「医療費適正化対策」は、医療費の伸びの根本要因に対処した構造的な対策である「中長期的な対策」と、患者負担の引き上げ等の「短期的な対策」を組み合わせていることを特徴としています。

その中長期的な対策の中心となるのが「医療費適正化計画」です。この計画は、国の責任の下、国及び都道府県が協力し、共同作業により生活習慣病対策や平均在院日数の短縮対策等の医療費適正化対策に、計画的に取り組むための基本的な枠組みとなるものです。

図表 1 - 4



資料：厚生労働省保険局作成